

小平市議会定例会 一般質問通告書

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 子どもがふえる小平から新しいモデルを

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な内容を項目別に記入してください)

2012年8月に子ども・子育て関連3法が制定されました。これに基づき昨年度より「子ども・子育て支援新制度」が開始され、認定子ども園、幼稚園及び保育所を通じた共通の給付(「施設型給付」)及び小規模保育等への給付(「地域型保育給付」)が創設されました。さらに地域の実情に応じて実施する「地域子ども・子育て支援事業」(利用者支援、地域子育て支援拠点、放課後児童クラブなどの「地域子ども・子育て支援事業」)の充実が盛り込まれています。

多様な保育ニーズに対応していくための保育の質の維持・向上に向けては、生活者ネットワークとして小平市の保育の質の水準を定める新たな「保育のガイドライン」策定が必要と提案し続けています。毎年認可保育園を増設しても待機児童は解消されず、生活の不安や行政への不満の声もあります。子どもがふえているという現状を前向きに捉えて、これからの小平市の子育て施策について以下質問します。

1. 子どもの人口の推移をみると、2012年以降は増加傾向にあり2019年までは増えることを想定しています。人口の分布や数値からみる背景について伺います。
2. 全ての認可保育園の保育の状況、運営状況などについて、どこでどのように評価、検証しているのか伺います。
3. 小規模で家庭的な保育の場を提供する小規模保育事業について、お考えを示してください。
4. 子ども・子育て支援は若者支援と地続きになりつながるものと考えます。子ども・若者計画の策定に向けてのすすめ方、その位置づけについてお聞きします。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2016年(平成28年)5月30日 小平市議会議長殿 小平市議会議員 氏名 平野ひろみ

受付番号【 】- (/ 2)

整理番号(通しNo.) …… ()